

■移動市長室を各総合支所に開設

市では2回目となる「移動市長室」を開設しました。この取り組みは市長が5つの総合支所を巡回し、懇談や提案を通じ、市民の皆さまとの対話を深めるのが狙いです。今回は7月1日に豊科、14日に三郷、20日に堀金、8月には9日に明科で開設

し、最終日は25日に穂高で開設します。

このうち、豊科総合支所で開かれた移動市長室では、6組の皆さんがその地域独自の課題や施策の提案などについて、市長と意見交換をしました。豊科保健センターの施設利用について

懇談をした平田米子さん(豊科)は、「どこへ相談すれば良いか分からず今回利用しました。なかなか雰囲気で話ができなかった」と話していました。いただいたご意見は、今後、施策の検討材料として活用させていただきます。



面談者と意見を交わす宮澤市長（7/1 豊科総合支所）

■行政評価外部評価委員会 評価結果報告書を提出

市行政評価外部評価委員会またさかつね（又坂常人委員長）は7月14日、本年度の外部評価結果報告書を市長へ提出しました。外部評価は、市が行う事業の内部評価が妥当か第三者の視点から判断するもので、本年度は10事業について評価を行いました。

結果は、内部評価と相違した評価結果も複数あり、中でも雨水貯留槽設置への補助事業については、「費用対効果などから事業の再検証が必要では」などの意見が出されました。

委員会では、併せて、次年度への課題として、外部評価がそ



村上副市長へ報告書を渡す又坂委員長

の後どのように生かされたか検証する必要性や、対象となる事業の選定方法と基準を明確にすることなどがあげられました。

※外部評価結果報告書の内容は、市ホームページに掲載していますのでご覧ください。

■武蔵野サミット開催 災害時の相互支援を確認

安曇野市の友好都市である武蔵野市を中心に、全国10市町村が加入する「武蔵野市交流市町村協議会」の第21回協議会（サミット）が7月6日・7日、市内で開催されました。

この日は関係する市町村から首長や議長など34人が出席。研修会では、信州大学の藤縄克之教授による基調講演、東日本大震災で市からも救援物資を届け

た、岩手県遠野市の本田敏秋市長の特別講演が行われました。

本市市長は、平成20年に実施した自衛隊東北方面隊震災対処訓練（みちのくALERT2008）に市民と共に参加した経験が大変役立つ事に触れながら、「現在の法律では、大規模災害に対応できない。協議会のネットワークや民間の力も借り、新たな仕組みを作っていく事が犠牲者

に対する私たちの努めである」と話しました。

引き続き行われた協議会（サミット）では、災害発生時の交流市町村への直接支援はもちろん、後方支援も含めて相互支援を行う事を骨子とする「安曇野市サミット宣言」が承認されました。



研修会は、多くの市職員も傍聴した。

市政トピックス

■食育で人づくり 食育シンポジウム開催

市では、初の開催となる「安曇野市食育シンポジウム～食でHaGuKuMu（はぐくむ）人づくり～」を7月16日、豊科交流学習センター「きぼう」で開催しました。この日はミニ講座「こどもの時からの、生活習慣病予防」と題した市食育推進会議会長である本郷実信州大学医学部教授による講演に始まり、市内



呉准教授による基調講演

で活動する3団体の代表による実践発表、廣田直子松本大学教授をアドバイザーに迎えたシンポジウム、松本大学大学院健康科学研究科の呉泰雄おてうん教授による「ジュニアのためのスポーツ栄養と食事」と題した基調講演などが行われ、集まった市民など約40人が安曇野の食育について理解を深めました。呉准教授

からは、生活習慣による食事への影響や、市販のお弁当でもバランスよく栄養を取るための工夫、運動や試合の前にとる食事への注意点や水分補給の方法など、具体的な内容がユーモアあふれる語り口で講演され、集まった市民はすぐに実践できる内容など、熱心にメモを取っていました。